



Power of control

SINTER(シンター)社 訪問記

2015年12月にスロベニアのブレーキパッド製造メーカーSINTER(シンター)社を訪れました。SINTER社は1969年にスロベニアで創業し自動車やバイク、自転車と



いった多くの分野で使われるブレーキパッドを製造し、80年代からはレーシングカートに使用されるブレーキパッドも製造を開始、多くのメーカーから純正品として指定を受けOEM供給してきました。SINTER社があるのはスロベニアの首都リュブリャナ(Ljubljana)の中心部近く、イタリア INTREPID社があるヴェローナからは車で400キロ弱。私が INTREPID社で働いていた時からの親友シモーネと彼の車で向かいます。ヴェネチアを通り過ぎ、さらに一時間ほど走った頃から車外の景色がイタリアの緑豊かな風景から岩がゴロゴロとした山

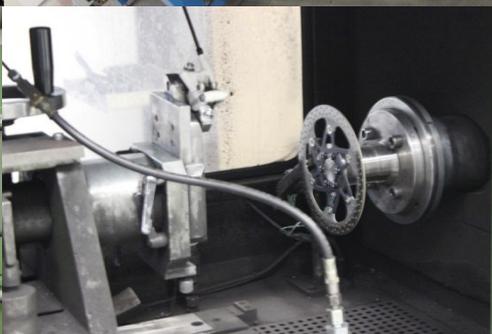
並みへと変わってきます。ユーロ圏であるスロベニアの国境にはゲートはあるもののパスポートの検査等はありません。しかし高速道路のシステムが日本とは違い料金所等も無く利用区間分の料金を支払うシステムではありません。国境付近のサービスエリアやガソリンスタンド等でヴィニェッタというステッカーを購入し車のフロントガラスに貼り付けるシステムでレンタカーや例え少しの期間しか利用しないとしても必要です。ヴィニェッタにはバイク用と車用があり、それぞれ1週間・1ヶ月・1年の期間のヴィニェッタが販売されています。私も1週間のチケットを購入しフロントガラスに貼り付けます。国境を過ぎ1時間ほどでスロベニアの首都リュブリャナへ到着し中心部近くにあるSINTER社へ。創業者のご子息のミハ・クラペスさんとは私と歳も近く仲良くさせて頂いています。ミハさんに工場内を案内して頂きました。





工場は数百メートル離れた場所に合計2箇所あり、ひとつの工場にはオフィス、製品納品場兼販売所、2輪ブレーキパッド製造工場、会議室等があり、もう一つの工場は数年前に新築したそうで新しいオフィス、カート用のブレーキパッド製造工場があります。ブレーキパッドは鉄の板の上にブレーキパッドコンパウンドをのせ高温・高圧のプレス過程を複数回行います。レーシングカート用のブレーキパッドはディスクが、かなりの高温になるためブレーキパッドには相当な負担がかかります。

SINTER社は1980年代からレーシングカートへも参入、3大メーカーをはじめINTREPID社など多くのメーカーから純正指定されOEM供給をし続けたことから分かる通り、過酷なレーシングカートのブレーキ環境でも剥離や制動力の劣化もなく高い品質を備えています。数年前に新築した工場内の機械の多くは数年前に導入した最新式、なおかつ従業員の方の多くは、かなり長く働かれているベテランで安心安全のブレーキパッドが製造されています。



左の写真は、ブレーキ用のベンチマシンです。製造したブレーキパッドをランダムに取り出し不具合はないか定期的にチェックしています。こちらのマシンも今年度中に新

型に切り替えるそうで、より厳しい製品管理と研究を行うそうです。





工場見学の後にはミハさんがスロベニアの首都リュブリャナを見学に連れて行ってくれました。ここリュブリャナは紀元前 2000 年頃には人類が住み着いていたようで、紀元前 50 年頃には、現在リュブリャナのお城がある丘を中心に既に街を形成していたそうです。また美男美女大国のようで、街ですれ違う方 全てがモデルさんかと思うほどです。街を見下ろす丘の上にあるリュブリャナ城は、見張り番が住み込み、火事の警告や重要な来訪者や出来事を大砲で知らせる義務があり、現在でも続いているそうです。夜の街並みも美しく再び訪れてみたい街が増えました。数年の内の夏頃に是非伺いますとミハさんと約束してリュブリャナを後にしました。



 **sinter**
Power of control

Thank you Mr, Miha Krapez
and
Sinter Brakes